



平成28年10月31日

江南市長

澤田 和延 様

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会

会長 松尾 昌之

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る効果検証について（報告）

平成28年9月26日に開催されました第1回江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会において、各種事業の実施状況及びKPIの達成状況についての検証を行いました。

今般、その検証結果を「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る提言」として別紙のとおり取りまとめましたので報告します。

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る提言

江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会では、江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる4つの基本目標の達成に向けての基本施策と目標達成のための取組・事業の進捗状況及び地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の効果について検証を行いました。

その成果として、総合戦略の更なる推進につなげるために、以下の6項目について取りまとめましたので提言します。

1. 目標値の見直し

目標値は、平成31年度までの5年間で事業を戦略的に実施し、成し遂げる上で重要である。そのため、目標値は、実績値に即した実効性のある事業目標を立てる必要がある。

基本施策1-②人を惹きつける江南の魅力発信のKPIの歴史を活かしたイベントの参加者数は、戦略計画策定時より実績値の捉え方が変わり、平成27年度の実績値が目標値を大幅に上回っているため、目標値を上方修正する必要がある。

2. 授乳やおむつ替えができる施設の情報提供の充実

基本施策2-①地域全体で子育てする環境づくりのvi)赤ちゃんとお出かけ支援について、授乳やおむつ替えのために立ち寄れる施設(例えば市役所や保育園など)の情報提供や看板等の掲示をきめ細かく行い、より分かりやすくする必要がある。

3. 買い物困難者を含めた社会的弱者への配慮

基本施策4-①高齢社会を支える仕組み体制づくりのv)買い物困難者への支援を充実する一環として、商業施設が遠方にある住民を対象とした支援を図る必要がある。

また、住みたいまち・住み続けたいまちの実現のために社会的弱者へのきめ細かな配慮を図っていく必要がある。

4. 公共施設の配置や管理の適正化

基本施策4-②地域でつくる安心・安全なまちのv)公共施設の配置や管理の適正化について、老朽化した公共施設の建て替えや統廃合

は、これからのまちづくりとも深く絡んでいるので、地方創生や企業誘致、都市計画との更なる連携を図っていく必要がある。

5. 10年先、20年先を見据えた将来展望

人口ビジョンにも示されているとおり、少子高齢化と人口減少は避けることはできないため、それらを踏まえた10年先、20年先の江南市のすがたを見据え、市民がより一層住みやすくなる生活環境を目指して、都市計画の将来展望を持ってほしい。

6. 公共施設のPRについて

公共施設の中には、市民に十分に活用されていないものがある。市民の活用を図るためにPRを強化し、さらなる周知を図ってほしい。

以上、江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会としては、各事業の進捗状況を踏まえ、総合戦略の推進に向けた見直しを行い、更なる市民サービスの向上に努め、引き続き地方創生に取り組むことを求めます。

(参考) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会

(1) 第1回江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略協議会

開催日：平成28年9月26日(月) 午前10時～午後0時

会場：市役所 2階 防災セミナー室

(2) 出席委員数 9人、傍聴者数 1人